

トルコ語の母音の映像資料*

福盛貴弘 (筑波大学大学院)

キーワード : トルコ語、母音、音声、映像資料、静止画像

1 序

現在、音声資料が CD などによって公開されることが多くなったが、映像資料となると、調音音声学的目的での X 線撮影¹や fMRI²などを用いた映像資料や、英語教育や日本語教育などのビデオ教材などではみられる³ものの、全体的にまだまだ少ない⁴といえよう。特に、X 線撮影や fMRI となると人文系にとっては様々な制約があるため、現時点で手軽に撮影できるものではない。しかし、デジタルビデオなど比較的廉価で手軽に⁵撮影できる時代にある中で、音声を映像によって保存していくことは今後求められるべきである。

映像資料が、音声研究にとって必要不可欠な情報であることはいうまでもない。また、これによって、調音音声学に基づく IPA 表記といった抽象化の前段階 (具体的にいえば口唇形状など) を証拠として明示することができる、音響音声学的解析結果との対応関係を捕捉することができるなどのメリットがある⁶。従って、英語や日本語のようないわゆるメジャー言

*本稿で提示する映像資料は、2002 年度に筑波大学に提出した博士 (言語学) 請求論文で示したものの一部である。また、この場をかりて、出演者として協力いただいた Deniz Bokesöy 氏、および撮影スタッフとして協力いただいた城生佰太郎氏・高慧禎氏に感謝の意を申し上げます。

¹ 国立国語研究所 (1978)、佐藤 (1983) など。

² 竹本他 (2001) 参照。

³ 日本語教育のビデオ教材に関しては、飛田 (2002) にまとめられている。

⁴ 城生 (1988) など。

⁵ 手軽にできるとはいえ、技術的にはある程度の知識を要する。技術的な問題に関しては、城生 (2002) 参照。

⁶ Ladefoged & Maddieson (1996) など、静止画像を掲載して音声を説明している著書もあ

語以外で、技術を駆使して音声学的目的による映像資料を作成し、音声分析で映像資料に基づく様々な証拠を提示していくことは音声研究に有益であると考えられる。

そういった中で、筆者はトルコ語の映像資料を作成することを試み、その一部をここに公開することにした。ただし、紙面で公開する以上、動画そのものを公開することは技術的に困難であるので、本稿では、母音の最大開口度における静止画像を資料としてここに掲載することにした。この資料を援用した母音の考察に関しては、福盛(2002)に譲ることにし、ここでは映像資料から切り出した静止画像を提示することを主たる目的とする。

2 方法

2.1 撮影協力者

氏名	Deniz Bökesoy 氏
生誕年	1971 年
性別	女性
言語形成期を過ごした場所	Ankara

2.2 撮影方法

収録は2000年8月に行なった。撮影場所および器材は以下のとおりである。

撮影場所	筑波大学人文・社会学系棟 B414 城生研究室
撮影器材	SONY 社製 DCR-TRV20 型デジタルビデオカメラ 2 台 (正面および左側面から撮影するため) SONY 社製 ECM-979 型エレクトレットコンデンサマイク クロフォン LPL 社製 VL-G151 型ビデオライト 2 台

撮影に関しては、リストを被験者前方に提示し、2回ずつ音読してもらう形式をとった。照明については、左上方および正面からの2灯によって、影を消すよう配慮した。

る。

撮影スタッフは3名で、正面図撮影の1カメ・音響・照明を城生佰太郎氏が、側面図撮影用の2カメとディレクターを筆者が、記録およびメイクを高慧禎氏が担当した。

2.3 分析資料

トルコ語のアルファベット a, e, ı, i, o, ö, u, ü を単音で調音してもらった。本番では、2回分収録した。

2.4 編集方法

撮影映像は、SONY社製DCR-TRV20デジタルビデオカメラからSONY社製VAIO PCG-951B型コンピュータにUlead社製MediaStudio Pro 6.0VEを介してD/D変換でAVI画像として取り込んだ。編集は、Ulead社製MediaStudio Pro 6.0VEを用いて行い、最大開口度に該当するところの静止画像を切り出した。

3 資料

図1~8に、トルコ語の母音を調音した際の最大開口度の状態を静止画像として提示する。それぞれ上段が正面図、下段が側面図である。

参考までに、福盛(2002)で示したIPA表記を以下に記しておく。

- a [ɑ̟] 非円唇後舌(やや狭めの)広母音
- e [e̟] 非円唇前舌(やや広めの)半狭母音
- ı [ɯ̟] 非円唇(やや前寄りの)後舌(広めの)狭母音
- i [i̟] 非円唇前舌狭母音
- o [o̟] 円唇後舌(やや広めの)半狭母音
- ö [ø̟] 円唇前舌(やや広めの)半狭母音
- u [u̟] 円唇後舌狭母音
- ü [y̟] 円唇前舌狭母音



図 1-a : a 調音時の正面図

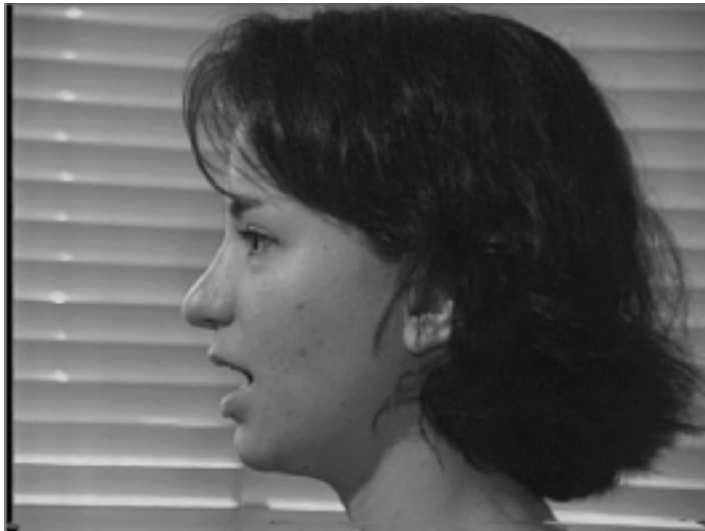


図 1-b : a 調音時の側面図



図 2-a : e 調音時の正面図



図 2-b : e 調音時の側面図



図 3-a : i 調音時の正面図



図 3-b : i 調音時の側面図



図 4-a : i 調音時の正面図



図 4-b : i 調音時の側面図



図 5-a : o 調音時の正面図



図 5-b : o 調音時の側面図



図 6-a : ö 調音時の正面図



図 6-b : ö 調音時の側面図



図 7-a : u 調音時の正面図



図 7-b : u 調音時の側面図

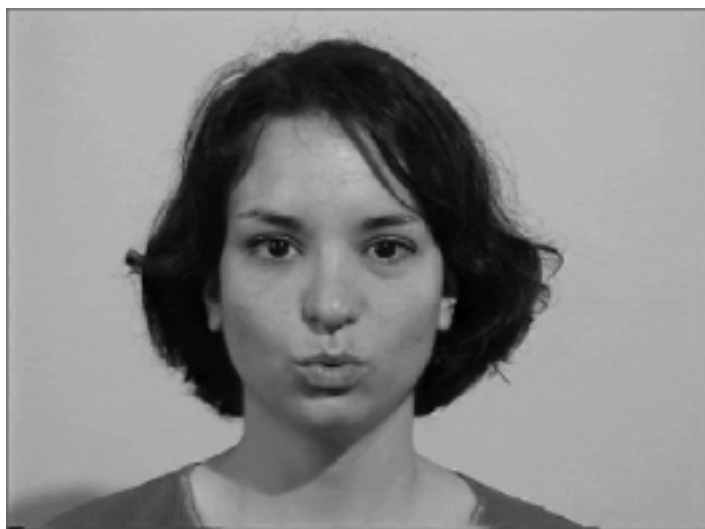


図 8-a : ü 調音時の正面図



図 8-b : ü 調音時の側面図

4 結語

ここでは、母音調音時の最大開口度における静止画像のみ提示する形となったが、他にも分節音のミニマルペアやアクセント資料などを収録しており、機会があれば順に公開していく予定である。今後の調査において、大掛かりな撮影でなくとも、城生・福盛(2001)で示した記述言語学の延長線上にある実験音声学の方法論として、また音声言語と行動言語との関連を記録する手段として動画による映像資料を作成することで、音声学や言語学に貢献できる以上、特にメジャー言語以外の記録で映像資料が多く用いられなければならない。映像資料作成は、筆者にとっても今後の課題となる。

【参考文献】

- 福盛 貴弘(2002)「トルコ語の母音調和に関する実験音声学的研究」筑波大学博士(言語学)請求論文(未刊)
- 飛田 良文(2002)「映像を考える」城生 佰太郎編『日本語教育学シリーズ 第6巻 映像の言語学』1-34. おうふう
- 城生 佰太郎(1988)『ビデオ音声学(上・下)』アポロン
- 城生 佰太郎(2002)「映像の「文法」を考える」『文藝言語研究 言語篇』42. 63-124. 筑波大学文芸・言語学系
- 城生 佰太郎・福盛 貴弘(2001)「行動表現の科学」飛田 良文 編『日本語教育学シリーズ第2巻 日本語行動論』53-101. おうふう
- 国立国語研究所(1978)『X線映画資料による母音の発音の研究』国立国語研究所報告 60. 秀英出版
- Ladefoged, P. & I. Maddieson (1996) *The Sounds of the World's Languages*. Oxford, Massachusetts: Blackwell Publishers.
- 佐藤 和之(1983)「X線写真を用いた日本語母音の音声学的考察」『山形女子短期大学紀要』15. 山形女子短期大学
- 竹本 浩典・本多 清志・正木 信夫・島田 育廣・藤本 一郎・高野 佐代子・武尾 和浩(2001)「日本語5母音連続発話時の声道立体形状の時間変化」『第15回日本音声学会全国大会予稿集』49-54. 日本音声学会

Video Data of Turkish Vowels

Takahiro FUKUMORI

This paper shows a part of the video data of Turkish vowels. Now it is time to store voice data not only on audio recordings but also on video recordings. We can find, however, little data of languages on the film or video data, except major languages like English and Japanese. This paper provides still pictures of eight Turkish vowels, which are pictures of maximum aperture taken from video recordings.

Starring is a female native speaker. The video recordings are shot from the front and side by two digital video cameras, and edited after scanning them into the computer by D/D conversion.

ICG01649@nifty.com